

函館五稜郭病院泌尿器科を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、2021年12月31日までに下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。それ以降ですと、御連絡をいただいた時点ですでに研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合があります。解析結果からあなたに関するデータを取り除くことはできず、研究参加を取りやめることができなくなります。なおこの研究に協力するかしないかはあなたの自由意思によります。協力をお断りになられても、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたは何ら不利益を受けることはありません。

研究課題名 (倫理審査委員会承認番号)	第12回 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス —複雑性尿路感染症 2020年—
当院の研究責任者 (所属)	泌尿器科 科長兼診療部長 高橋 敦
本研究の目的	複雑性尿路感染症患者より分離された原因菌の各種抗菌薬に対する感受性を測定し、患者背景別等の感受性推移を経年的に検討します。
研究参加施設	全国40施設
検体収集期間	病院長承認日より2021年9月30日まで
研究の方法 (使用する試料等)	【対象となる患者さん】 上記期間内に当院を受診され、『急性単純性膀胱炎』と診断された方 【利用する試料や情報】 ・電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します ・日常診療で採尿した尿
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	提供機関及び研究責任者名：東邦大学看護学部感染制御学 小林 寅喆 提供方法：日常診療で分離同定した原因菌を輸送用培地（カジトン培地）に入れ、バリアボックスにて送付します。
試料/情報の管理	・個人を特定できないように加工し、診療情報および感受性測定結果は施設、薬剤感受性測定施設、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会に5年間保存され、その後、廃棄されます。 ・本研究で得られた菌株は薬剤感受性測定施設に5年間保管され、その後、廃棄するかを検討します。 (検体管理、解析及び報告書作成、菌株保管の責任者) 東邦大学看護学部感染制御学 小林 寅喆
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会が以下に掲げる企業から受けた支援金より支払われます。尚、当院への資金提供はありません。</p> <p>(2019年度の製薬企業)</p> <p>アステラス製薬(株) / 杏林製薬(株) / グラクソ・スミスクライン(株) / 塩野義製薬(株) / 第一三共(株) / 第一三共エスファ(株) / 大日本住友製薬(株) / 大鵬薬品工業(株) / 武田テバファーマ(株) / 富士フイルム富山化学(株) / ファイザー(株) / Meiji Seika ファルマ(株) / 大原薬品工業(株) / 小林化工(株) / 沢井製薬(株) / 高田製薬(株) / 東和薬品(株) / 日医工(株) / ニプロ(株) / 陽進堂(株) / 長生堂製薬(株)</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>研究責任者 泌尿器科 科長兼診療部長 高橋 敦 研究分担者 泌尿器科 医長 桧山 佳樹</p> <p>電話：0138-51-2295 (病院代表番号)</p>
<p>備考</p>	